



## ディレクトリ サービスの設定

---

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) で使用可能なディレクトリ サービスのサポートについて説明します。

### このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[ディレクトリ サービスの機能情報](#)」(P.1066) を参照してください。

## 内容

- 「[ディレクトリ サービスについて](#)」(P.1045)
- 「[ディレクトリ サービスの設定方法](#)」(P.1047)
- 「[ディレクトリ サービスの設定例](#)」(P.1059)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.1065)
- 「[ディレクトリ サービスの機能情報](#)」(P.1066)

## ディレクトリ サービスについて

ディレクトリ サービスをイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「[ローカル ディレクトリ](#)」(P.1046)
- 「[外部ディレクトリ](#)」(P.1046)
- 「[Called-Name 表示](#)」(P.1046)
- 「[ディレクトリ検索](#)」(P.1047)

## ローカル ディレクトリ

Cisco Unified CME は、電話機のディレクトリ番号設定で割り当てられた電話番号を含む、ローカル電話ディレクトリを自動的に作成します。テレフォニー サービス コンフィギュレーション モードでローカル ディレクトリに追加エントリを作成できます。追加エントリは、会社で使用する他の Cisco Unified CME システムの電話番号など、ローカル以外の番号にすることができます。

電話機ユーザが [ディレクトリ (Directories)] > [ローカル ディレクトリ (Local Directory)] メニューを選択すると、Cisco Unified CME の検索ページが電話機に表示されます。ユーザが検索情報を入力すると、電話機はその情報を Cisco Unified CME へ送信します。要求された番号または名前がディレクトリ番号設定で検索され、応答が電話機へ返されます。一致する結果が電話機に表示されません。電話機は最大 32 のディレクトリ エントリを表示できます。検索結果のエントリ数が 32 を超える場合は、電話機にエラー メッセージが表示されます。ユーザは結果を絞り込むために、検索条件を限定する必要があります。

ディレクトリ エントリの名前の順序は、姓が先、名が先のいずれかになります。ディレクトリ名の文字列にスペースおよびカンマ (,) を含めることは可能ですが、アンパサンド (&) を含めることはできません。

IP Phone に表示されるローカル ディレクトリは、HTTP 経由でアクセスされるパスワード保護なしの XML ページです。ディレクトリ HTTP サービスをディセーブルにすると、ローカル ディレクトリを使用不可にできます。

設定については、「[ローカル ディレクトリ サービスの設定](#)」(P.1047) を参照してください。

## 外部ディレクトリ

Cisco Unified IP Phone は、[ディレクトリ (Directories)] ボタンを含む IP Phone の 4 つのプログラム マップ機能ボタンと組み合わせて URL をサポートできます。これらのサービスの動作は、Cisco Unified IP Phone の機能および参照される URL のコンテンツによって決まります。ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスはディセーブルになります。

## Called-Name 表示

電話窓口係が複数の異なる部門または人々のコールに応答するとき、着信側の名前（番号ではなく）の表示があった方が便利ながよくあります。たとえば、注文受付係が 3 つのカタログを処理し、1 つのオーバーレイ ephone-dn セット内でそれぞれ 800 番が設定されているとき、「カタログ N にお電話ありがとうございます。ご注文はお決まりでしょうか」などと正しく応じるには、どのカタログがコールされているかを知る必要があります。Called-Name 表示機能では、次のどちらのタイプの名前も表示できます。

- ローカル ディレクトリのディレクトリ番号の名前
- オーバーレイ ディレクトリ番号に関連付けられた名前。オーバーレイ番号セットの最初のディレクトリ番号へのコールでは、発信者 ID が表示されます。オーバーレイ セットの残りのディレクトリ番号へのコールでは、ディレクトリ番号に関連付けられた名前が表示されます。

## ディレクトリ検索

Cisco Unified CME 4.3 では、ディレクトリ検索機能の使用時に検索結果リストでサポートされるエントリの数が、32 から最大 240 に増えています。たとえば、ユーザが姓として「smith」と入力したときに、240 個のすべての一致が 8 つのページに、ページごとに 30 エントリずつ表示されます。複数のページが必要な場合、電話機には 2 つのソフトキー [次へ (Next)] と [前へ (Prev)] が表示されます。電話機ユーザはこのキーを押して、次のページに進んだり前のページに戻ったりできます。[2/3 ページ (Page 2 of 3)] などのテキスト表示によって、検索結果の現在のページと合計ページ数が示されます。

## ディレクトリ サービスの設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「ローカル ディレクトリ サービスの設定」 (P.1047)
- 「SCCP : ディレクトリ番号の名前の定義」 (P.1048)
- 「SCCP : ローカル ディレクトリへのエントリの追加」 (P.1050)
- 「SCCP : 外部ディレクトリ サービスの設定」 (P.1051)
- 「SCCP : Called-Name 表示のイネーブル化」 (P.1054)
- 「Called-Name 表示の確認」 (P.1055)
- 「SIP : ディレクトリ番号の名前の定義」 (P.1056)
- 「SIP : 外部ディレクトリ サービスの設定」 (P.1057)
- 「ディレクトリ サービスの確認」 (P.1058)

## ローカル ディレクトリ サービスの設定

ローカル ディレクトリ名の形式を決定したり、すべての電話機でローカル ディレクトリ表示をブロックするには、次の手順を実行します。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **directory {first-name-first | last-name-first}**
5. **no service local-directory**
6. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>telephony-service</code>  例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	<code>directory {first-name-first   last-name-first}</code>  例： Router(config-telephony)# directory last-name-first	ローカル ディレクトリのエントリの形式を定義します。 • デフォルトは <b>first-name-first</b> です。
ステップ5	<code>no service local-directory</code>  例： Router(config-telephony)# no service local-directory	IP Phone のローカル ディレクトリ サービスをディセーブルにします。
ステップ6	<code>end</code>  例： Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SCCP : ディレクトリ番号の名前の定義

ローカル ディレクトリ エントリとして発信者 ID 表示に使用する名前を定義するには、次の手順を実行します。

## 前提条件

- Cisco CME 3.0 以降のバージョン。
- ディレクトリ エントリを定義するディレクトリ番号には、**number (ephone-dn)** コマンドを使用して番号を割り当てておく必要があります。設定情報については、「[SCCP : ディレクトリ番号の作成](#)」(P.228) を参照してください。

## 制約事項

- ディレクトリ番号に関連付ける名前にアンパサンド (&) などの特殊文字を含めることはできません。名前に使用できる特殊文字はカンマ (,) およびパーセント記号 (%) だけです。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn** *dn-tag*
4. **name** *name*
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<b>ephone-dn</b> <i>dn-tag</i>  例： Router(config)# ephone-dn 55	ephone-dn コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	<b>name</b> <i>name</i>  例： Router(config-ephone-dn)# name Smith, John or Router(config-ephone-dn)# name Shipping and Handling	このディレクトリ番号に名前を関連付けます。  • <b>directory</b> コマンドで指定された名前順序 (first-name-first または last-name-first) に従う必要があります。  • <b>name</b> : 表示する英数字文字列。  – <b>name</b> 文字列の 2 つの部分の間 (名 姓または姓 名) を 1 つのスペースで区切る必要があります。  – <b>name</b> 文字列の 2 番目の部分には、「and Shipping」などのようにスペースを含めることができます。 <b>name</b> 文字列の最初の部分にスペースを含めることはできません。  – <b>name</b> 文字列には、表示目的で、たとえば、姓が先のパターン (姓, 名) を使用する際にはカンマ (,) を含めることができます。
ステップ5	<b>end</b>  例： Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SCCP : ローカル ディレクトリへのエントリの追加

ローカル ディレクトリにエントリを追加するには、次の手順を実行します。

### 制約事項

- 設定するディレクトリ エントリが **Called-Name** 表示に使用される場合には、設定される番号に少なくとも 1 つのワイルドカード文字を含める必要があります。
- ローカル ディレクトリのエントリに開く引用符または閉じる引用符 (、'、"、") を含めることはできません。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **directory entry** {*directory-tag number name name* | **clear**}
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"><li>プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。</li></ul>
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>telephony-service</code>  例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	<code>directory entry {directory-tag number name name   clear}</code>  例： Router(config-telephony)# <b>directory entry 1 5550111 name Sales</b>	IP Phone に表示される電話ディレクトリ エントリを作成します。 エントリは入力された順序で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li><b>directory-tag</b> : すべての設定作業中に、このディレクトリ エントリを識別する固有のシーケンス番号。範囲は 1 ~ 250 です。</li><li>この名前が <b>Called-Name</b> 表示に使用される場合は、名前に関連付けられた <b>number</b> に少なくとも 1 つのワイルドカード文字を含める必要があります。</li><li><b>name</b> : スペースを含む 1 ~ 24 文字の英数字。名前に開く引用符または閉じる引用符 (、'、"、") を含めることはできません。</li></ul>
ステップ5	<code>end</code>  例： Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SCCP : 外部ディレクトリ サービスの設定

サポートされる Cisco Unified IP Phone で外部ディレクトリ リソースをイネーブルにし、ローカルディレクトリ サービスをその電話機でディセーブルにするには、次の手順に従います。

## 前提条件

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリを Cisco Unified CME Phone の外部ディレクトリ リソースとして使用するには、Cisco Unified Communications Manager がその電話機を認識する必要があります。Cisco Unified Communications Manager で Cisco Unified CME Phone の MAC アドレスをリストして、Cisco Unified Communications Manager から電話機をリセットする必要があります。電話機に ephone-dn を割り当てる必要も、電話機を Cisco Unified Communications Manager に登録する必要もありません。

## 制約事項

- ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカル ディレクトリ サービスはディセーブルになります。
- 外部ディレクトリ サービスの設定は、Java ベースの電話機だけで機能します。Java ベースの電話機では、次の重複ディレクトリが表示されます。
  - 不在履歴
  - 受信
  - 発信

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony -service**
4. **url directories *url***
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。



	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	<b>telephony-service</b>  <b>例 :</b> Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ4	<b>url directories url</b>  <b>例 :</b> Router(config-telephony)# url directories http://10.0.0.11/localdirectory	Cisco Unified CME でサポートされる Cisco Unified IP Phone のプログラマブル機能ボタン [ ディレクトリ (Directories) ] に URL を関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスはディセーブルになります。</li> <li>これらのサービスの動作は、Cisco Unified IP Phone の機能および指定された URL の内容によって決定されます。</li> </ul>
ステップ5	<b>end</b>  <b>例 :</b> Router(config-telephony)# end	コンフィギュレーション モードを終了して、特権 EXEC モードを開始します。

## SCCP : Called-Name 表示のイネーブル化

Called-Name 表示をイネーブルにするには、次の手順を実行します。

### 前提条件

- オーバーレイされたディレクトリ番号以外のディレクトリ番号の場合：Called-Name 表示に名前を表示するには、表示する名前がローカル ディレクトリに定義されていること。「[SCCP : ローカル ディレクトリへのエントリの追加](#)」(P.1050) を参照してください。
- オーバーレイされたディレクトリ番号の場合：オーバーレイされたディレクトリ番号セットにあるディレクトリ番号に対して、名前を Called-Name 表示に表示するには、表示する名前が定義されていること。「[SCCP : ディレクトリ番号の名前の定義](#)」(P.1048) を参照してください

### 制約事項

- `service dnis overlay` コマンドは、オーバーレイされた `ephone-dn` の設定だけに使用できます。

### 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `telephony-service`
4. `service dnis dir-lookup`
5. `service dnis overlay`
6. `end`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>telephony-service</code>  例： Router(config)#	<code>telephony-service</code> コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	<b>service dnis dir-lookup</b>  例： <pre>Router(config-telephony)# service dnis dir-lookup</pre>	着信者番号に対する着信コールで、このディレクトリ番号に <b>directory entry</b> コマンドで定義された名前が表示されることを指定します。  <ul style="list-style-type: none"> <li><b>service dnis dir-lookup</b> コマンドと <b>service dnis overlay</b> コマンドの両方が1つの設定で使用された場合は、<b>service dnis dir-lookup</b> コマンドが優先されます。</li> </ul>
ステップ5	<b>service dnis overlay</b>  例： <pre>Router(config-telephony)# service dnis overlay</pre>	(オーバーレイされたディレクトリ番号の場合のみ) 着信者番号に対する着信コールで、このディレクトリ番号に <b>name</b> コマンドで定義された名前が表示されることを指定します。  (注) <b>service dnis dir-lookup</b> コマンドと <b>service dnis overlay</b> コマンドの両方が1つの設定で使用された場合は、 <b>service dnis dir-lookup</b> コマンドが優先されます。
ステップ6	<b>end</b>  例： <pre>Router(config-telephony)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

## Called-Name 表示の確認

**ステップ 1** **show running-config** コマンドを使用して、設定を確認します。Called-Name 表示は出力の **telephony-service** 部分に示されます。

```
Router# show running-config

telephony-service
service dnis overlay
```

**ステップ 2** **show telephony-service directory-entry** コマンドを使用して、現在のディレクトリ エントリを表示します。

```
Router# show telephony-service directory-entry

directory entry 1 5550341 name doctor1
directory entry 2 5550772 name doctor1
directory entry 3 5550263 name doctor3
```

**ステップ 3** **show telephony-service ephone-dn** コマンドを使用して、少なくとも1つのワイルドカード（ピリオド、つまり .）を **ephone-dn** プライマリ番号またはセカンダリ番号に使用したこと、あるいは番号の名前を入力したことを確認します。

```
Router# show telephony-service ephone-dn

ephone-dn 2
number 5002 secondary 200.
name catalogN
huntstop
call-forward noan 5001 timeout 8
```

**ステップ 4** **show ephone overlay** コマンドを使用して、オーバーレイされた **ephone-dn** セットの内容を確認します。

```
Router# show ephone overlay

ephone-1 Mac:0007.0EA6.353A TCP socket:[1] activeLine:0 REGISTERED
```

```

mediaActive:0 offhook:0 ringing:0 reset:0 reset_sent:0 paging 0 debug:0

IP:10.2.225.205 52486 Telecaster 7960 keepalive 2771 max_line 6
button 1: dn 11 number 60011 CH1 IDLE overlay
button 2: dn 17 number 60017 CH1 IDLE overlay
button 3: dn 24 number 60024 CH1 IDLE overlay
button 4: dn 30 number 60030 CH1 IDLE overlay
button 5: dn 36 number 60036 CH1 IDLE CH2 IDLE overlay
button 6: dn 39 number 60039 CH1 IDLE CH2 IDLE overlay
overlay 1: 11(60011) 12(60012) 13(60013) 14(60014) 15(60015) 16(60016)
overlay 2: 17(60017) 18(60018) 19(60019) 20(60020) 21(60021) 22(60022)
overlay 3: 23(60023) 24(60024) 25(60025) 26(60026) 27(60027) 28(60028)
overlay 4: 29(60029) 30(60030) 31(60031) 32(60032) 33(60033) 34(60034)
overlay 5: 35(60035) 36(60036) 37(60037)
overlay 6: 38(60038) 39(60039) 40(60040)

```

## SIP : ディレクトリ番号の名前の定義

SIP 電話機のディレクトリ番号の名前を定義するには、次の手順を実行します。

### 前提条件

- Cisco CME 3.4 以降のバージョン。
- 名前を定義するディレクトリ番号に、**number (voice register dn)** コマンドを使用して番号が割り当てられていること。設定情報については、「[SIP : ディレクトリ番号の作成](#)」(P.238) を参照してください。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register dn *dn-tag***
4. **name *name***
5. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b>  例: Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b>  例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	<pre>voice register dn dn-tag</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-register-global)# voice register dn 17</pre>	voice register dn コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機のディレクトリ番号、インターコム回線、音声ポート、またはメッセージ待機インジケータ (MWI) を定義します。
ステップ4	<pre>name name</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-register-dn)# name Smith, John</pre> <p>または</p> <p>例:</p> <pre>Router(config-register-dn)# name John Smith</pre>	<p>Cisco Unified CME のディレクトリ番号に名前を関連付け、SIP 電話機から発信されるコールの発信者 ID を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名前は <b>directory (telephony-service)</b> コマンドを使用して指定された順序に従う必要があります。</li> </ul>
ステップ5	<pre>end</pre> <p>例:</p> <pre>Router(config-register-dn)# end</pre>	コンフィギュレーション モードを終了して、特権 EXEC モードを開始します。

## SIP : 外部ディレクトリ サービスの設定

サポートされる Cisco Unified IP Phone で外部ディレクトリ リソースをイネーブルにし、ローカルディレクトリ サービスをその電話機でディセーブルにするには、次の手順に従います。

### 前提条件

Cisco CME 3.4 以降のバージョン。

### 制約事項

- ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスはディセーブルになります。
- Cisco Unified IP Phone 7960 および 7960G と Cisco Unified IP Phone 7940 および 7940G でのみサポートされます。

### 手順の概要

1. enable
2. configure terminal
3. voice register global
4. url directory *url*
5. end

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>voice register global</code>  例： Router(config)# voice register global	音声レジスタ グローバル コンフィギュレーション モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。
ステップ4	<code>url {directory url}</code>  例： Router(config-register-global)# url directory http://10.0.0.11/localdirectory	Cisco Unified CME でサポートされる Cisco Unified IP Phone のプログラマブル機能ボタン [ディレクトリ (Directories) ] に URL を関連付けます。  • ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスはディセーブルになります。  • これらのサービスの動作は、Cisco Unified IP Phone の機能および指定された URL の内容によって決定されます。
ステップ5	<code>end</code>  例： Router(config-register-global)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## ディレクトリ サービスの確認

ローカル ディレクトリ サービスの設定を確認するには、次の手順を実行します。

## 手順の概要

1. `show running-config`
2. `show telephony-service`
3. `show telephony-service directory-entry`

## 手順の詳細

ステップ 1 `show running-config`

このコマンドは、実行コンフィギュレーションを表示します。ディレクトリ コンフィギュレーション コマンドが出力の `telephony-service` 部分にリストされます。

```
Router# show running-config
```

```
.  
. .  
timeout busy 10  
timeout ringing 100  
caller-id name-only: enable  
system message XYZ Company  
web admin system name admin1 password admin1  
web admin customer name Customer  
edit DN through Web: enabled.  
edit TIME through web: enabled.  
Log (table parameters):  
    max-size: 150  
    retain-timer: 15  
create cnf-files version-stamp Jan 01 2002 00:00:00  
transfer-system full-consult  
multicast moh 239.12.20.123 port 2000  
fxo hook-flash  
local directory service: enabled.
```

### ステップ 2 show telephony-service

このコマンドは、**telephony-service** コンフィギュレーション情報のみを表示します。

### ステップ 3 show telephony-service directory-entry コマンドを使用して、**directory entry** コマンドで作成されたエントリを表示します。

## ディレクトリ サービスの設定例

この項では、次の例について説明します。

- 「ローカル ディレクトリ」(P.1059)
- 「Called-Name 表示」(P.1060)

### ローカル ディレクトリ

次の例では、Cisco Unified CME ルータによってサービスが提供される IP Phone のローカル ディレクトリの命名順序が定義されます。

```
telephony-service  
    directory last-name-first
```

次の例では、3 つの電話リストのディレクトリが作成されます。

```
telephony-service  
    directory entry 1 14045550111 name Sales  
    directory entry 2 13125550122 name Marketing  
    directory entry 3 12135550144 name Support Center
```

次の例では、Cisco Unified CME ルータによってサービスが提供される IP Phone のローカル ディレクトリがディセーブルになります。

```
telephony-service  
    no service local-directory
```

## Called-Name 表示

この項では、次の例について説明します。

- 「オーバーレイ セットの最初の ephone-dn : 例」 (P.1060)
- 「オーバーレイされた ephone-dn セットのディレクトリ名 : 例」 (P.1060)
- 「オーバーレイされた ephone-dn のハント グループのディレクトリ名 : 例」 (P.1062)
- 「オーバーレイされていない ephone-dn のディレクトリ名 : 例」 (P.1063)
- 「オーバーレイされた ephone-dn の ephone-dn 名 : 例」 (P.1063)

### オーバーレイ セットの最初の ephone-dn : 例

次の例は、オーバーレイされた同じ ephone-dn セットを各電話機のボタン 1 に使用する 3 台の電話機の設定を示しています。

```
telephony-service
 service dnis overlay

ephone-dn 1
 number 18005550100

ephone-dn 2
 name department1
 number 18005550101

ephone-dn 3
 name department2
 number 18005550102

ephone 1
 button 101,2,3

ephone 2
 button 101,2,3

ephone 3
 button 101,2,3
```

3 台すべての電話機のデフォルト表示は、オーバーレイ セットにリストされる最初の ephone-dn の番号です (18005550100)。最初の ephone-dn (18005550100) にコールがあると、発信者 ID (たとえば、4085550123) が 3 台すべての電話機に表示されます。電話機 1 のユーザがコールに応答します。発信者 ID (4085550123) は電話機 1 に表示されたままで、電話機 2 および電話機 3 の表示はデフォルト表示 (18005550100) に戻ります。次の ephone-dn へのコールがあります。電話機 2 および電話機 3 のデフォルト表示が、着信側 ephone-dn の名前 (18005550101) に置き換わります。

### オーバーレイされた ephone-dn セットのディレクトリ名 : 例

次に示すのは、ephone-dn のセカンダリ番号にワイルドカードを使用するオーバーレイされた ephone-dn セットの設定例です。ワイルドカードを使用すると、ダイヤルされた番号に従って表示を制御できます。この例は、1 つのボタンで 9 名の医師へのコールを受け付ける 3 台の IP Phone を使用する医療応答サービスの場合です。5550001 へのコールで ephone 1 ~ ephone 3 のボタン 1 が呼び出されると、「doctor1」が 3 つすべての ephone に表示されます。

```
telephony-service
 service dnis dir-lookup
```



```
directory entry 1 5550001 name doctor1
directory entry 2 5550002 name doctor2
directory entry 3 5550003 name doctor3

directory entry 4 5550010 name doctor4
directory entry 5 5550011 name doctor5
directory entry 6 5550012 name doctor6

directory entry 7 5550020 name doctor7
directory entry 8 5550021 name doctor8
directory entry 9 5550022 name doctor9

ephone-dn 1
  number 5500 secondary 555000.

ephone-dn 2
  number 5501 secondary 555001.

ephone-dn 3
  number 5502 secondary 555002.

ephone 1
  button 101,2,3
  mac-address 1111.1111.1111

ephone 2
  button 101,2,3
  mac-address 2222.2222.2222

ephone 3
  button 101,2,3
  mac-address 3333.3333.3333
```

ディレクトリ エントリの作成の詳細については、「[ローカル ディレクトリ](#)」(P.1046) を参照してください。オーバーレイされた **ephone-dn** の詳細については、「[コール カバレッジ機能の設定](#)」(P.851) を参照してください。

## オーバーレイされた ephone-dn のハント グループのディレクトリ名 : 例

次の例は、2 台の電話機と 4 名の医師による医療応答サービスのハント グループの設定を示しています。各電話機に 2 つのボタンがあり、各ボタンに 2 名の医師の番号が割り当てられています。患者が 5550341 にコールすると、Cisco Unified CME はハント グループのパイロットセカンダリ番号 (555....) と照合し、2 台の電話機の一つのボタン 1 を鳴らし、「doctor1」を表示します。

```
telephony-service
 service dnis dir-lookup
 max-redirect 20
 directory entry 1 5550341 name doctor1
 directory entry 2 5550772 name doctor1
 directory entry 3 5550263 name doctor3
 directory entry 4 5550150 name doctor4

ephone-dn 1
 number 1001

ephone-dn 2
 number 1002

ephone-dn 3
 number 1003

ephone-dn 4
 number 104

ephone 1
 button 1o1,2
 button 2o3,4
 mac-address 1111.1111.1111

ephone 2
 button 1o1,2
 button 2o3,4
 mac-address 2222.2222.2222

ephone-hunt 1 peer
 pilot 5100 secondary 555....
 list 1001, 1002, 1003, 1004
 final number 5556000
 hops 5
 preference 1
 timeout 20
 no-reg
```

ハント グループの動作の詳細については、「[コール カバレッジ機能の設定](#)」(P.851) を参照してください。ワイルドカードはセカンダリ番号でのみ使用され、プライマリ番号では使用できないことに注意してください。ディレクトリ エントリの作成の詳細については、「[ローカル ディレクトリ](#)」(P.1046) を参照してください。オーバーレイされた ephone-dn の詳細については、「[コール カバレッジ機能の設定](#)」(P.851) を参照してください。

## オーバーレイされていない ephone-dn のディレクトリ名 : 例

次の例は、それぞれが 2 つのボタンを持つ 3 台の IP Phone の設定です。ボタン 1 は doctor1、doctor2、および doctor3 からのコールを受け付け、ボタン 2 は doctor4、doctor5、および doctor6 からのコールを受け付けます。

```
telephony-service
 service dnis dir-lookup
 directory entry 1 5550001 name doctor1
 directory entry 2 5550002 name doctor2
 directory entry 3 5550003 name doctor3
 directory entry 4 5550010 name doctor4
 directory entry 5 5550011 name doctor5 directory entry 6 5550012 name doctor6

ephone-dn 1
 number 1001 secondary 555000.

ephone-dn 2
 number 1002 secondary 555001.

ephone 1
 button 1:1
 button 2:2
 mac-address 1111.1111.1111

ephone 2
 button 1:1
 button 2:2
 mac-address 2222.2222.2222

ephone 3
 button 1:1
 button 2:2
 mac-address 3333.3333.3333
```

ディレクトリ エントリの作成の詳細については、「[ローカル ディレクトリ](#)」(P.1046) を参照してください。

## オーバーレイされた ephone-dn の ephone-dn 名 : 例

次の例は、3 つの異なるカタログに対する 3 つの 800 番をピックアップするように割り当てられたボタン 1 を持つ 3 台の電話機を示しています。

4 台すべての電話機のデフォルト表示は、オーバーレイ セットにリストされる最初の ephone-dn の番号です (18005550000)。最初の ephone-dn (18005550000) にコールがあると、発信者 ID (たとえば、4085550123) がすべての電話機に表示されます。電話機 1 のユーザがコールに応答します。発信者 ID (4085550123) は電話機 1 に表示されたままで、電話機 2 および電話機 3 の表示はデフォルト表

示 (18005550000) に戻ります。2 番めの ephone-dn (18005550001) へのコールがあります。電話機 2 および電話機 3 のデフォルト表示は着信側 ephone-dn の名前 (catalog1) と番号 (18005550001) に置き換わります。

```
telephony-service  
  service dnis overlay
```

```
ephone-dn 1  
  number 18005550000
```

```
ephone-dn 2  
  name catalog1  
  number 18005550001
```

```
ephone-dn 3  
  name catalog2  
  number 18005550002
```

```
ephone-dn 4  
  name catalog3  
  number 18005550003
```

```
ephone 1  
  button 101,2,3,4
```

```
ephone 2  
  button 101,2,3,4
```

```
ephone 3  
  button 101,2,3,4
```

オーバーレイされた ephone-dn の詳細については、「[コールカバレッジ機能の設定](#)」(P.851) を参照してください。

## その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

### 関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified CME Command Reference』</li> <li>『Cisco Unified CME Documentation Roadmap』</li> </ul>
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Voice Command Reference』</li> <li>『Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References』</li> </ul>
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Voice Configuration Library』</li> <li>『Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides』</li> </ul>
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>『User Documentation for Cisco Unified IP Phones』</li> </ul>

### シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクニカル サポートを受ける</li> <li>・ソフトウェアをダウンロードする</li> <li>・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li> <li>・ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> <li>- Product Alert の受信登録</li> <li>- Field Notice の受信登録</li> <li>- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索</li> </ul> </li> <li>・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li> <li>・トレーニング リソースへアクセスする</li> <li>・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li> </ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

## ディレクトリ サービスの機能情報

表 89 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm) にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィーチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 89 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 89 ディレクトリ サービスの機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
ディレクトリ 検索	7.0/4.3	ディレクトリ 検索の使用時に検索結果リストでサポートされるエントリの数が 32 から 240 に増えました。
Called-Name 表示	3.2	Called-Name 表示が導入されました。
ローカル ディレクトリ サービス 外部ディレクトリ サービス	4.0(2)	ディレクトリにリストされている番号を選択し、コールを直接転送するためのサポートが追加されました。ディレクトリ転送がサポートされていない場合は、ユーザが [転送 (Transfer)] を押し、次にキーボードを使用して監視する回線の番号を手動で入力し、着信コールを転送する必要があります。
	3.4	Cisco Unified CME に直接接続された SIP 電話機にディレクトリ サービスのサポートが追加されました。
	3.0	電話設定から自動的に追加されるもの以外に、ローカル ディレクトリ エントリを追加する機能が導入されました。ローカル ディレクトリ表示の認証が導入されました。
	2.1	電話機でのローカル ディレクトリの表示をブロックする機能が導入されました。
	2.0	ローカル ディレクトリでの名前形式の指定が導入されました。